

学力向上の取組 ～ 全国学力・学習状況調査の結果を受けて ～

こうちやう なが の ひで き
校長 長野 秀樹

4月に行われた全国学力・学習状況調査（6年生対象）の本校の結果と今後の取組についてお知らせいたします。

【学力調査について】

調査教科は、国語・算数・理科の3教科でした。本校は全ての教科で県や全国の平均通過率を大きく下回り、A問題「知識に関する問題」よりもB問題「活用に関する問題」の方が、県・全国との差がさらに大きいことに課題があります。

【学習状況調査について】

生活習慣や学習環境に関する「質問紙調査」の結果を見ますと、生活面では、本校の子どもたちの生活習慣（食事・睡眠）や規範意識（きまりを守る・いじめはいけない）は概ね身に付いています。

学習面では、家庭での学習習慣は概ね身に付いていますが、算数・理科の学習意欲が低かったり、学習内容が理解できなかつたりする子どもの割合が非常に高いです。学力調査の結果も上述のとおり、県・全国平均を大きく下回る結果になっています。

これらの結果を受けて、学校では、次のような取組を一層進めていきます。算数の授業での複数の教師による指導や少人数指導、習熟の程度に応じた指導など、一人一人の子どもの実態や、つまずきに応じた指導を行います。そして、授業の終末には、理解したか・できるようになったかの見届けを確実に行うとともに、授業で学んだことを生かして家庭学習に取り組めるようにします。

また、子どもの学習への意欲・関心を引き出し、子ども自ら問いをもち、自ら考え、伝え合いながら解決できるよう、主体的・対話的で深い学びのある授業づくりに努め、思考力・判断力・表現力を育てます。



学力向上のために、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。